

長期目標

## 高度な医療能力を有する 医師等の養成

### (1) 医学部の教育の成果

1. 早期に自治医科大学卒業生としての使命を自覚させる。
2. 総合医としての実力を早期に身につけさせる。
3. 豊かな人間性の涵養を図る。

### (2) 教育の質の向上

1. 臨床教育を充実し、地域医療に役立つ知識・技能・態度を学ばせる。
2. 地域の医師との交流や地域医療の現状認識を深めさせ、建学の精神の再確認を図る。
3. 円滑な人間関係を構築できる医師を育成する。
4. 大学医学部教育研究ゾーンの環境整備を図る。

### (3) 学生の受入れ

医学部教育に対応できる学力と医師となる適正を有する者が、従来にも増して選抜されるよう、その方法について都道府県と検討する。

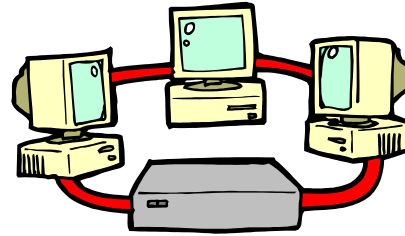
### (4) 国家試験対策

高い合格率を引き続き維持する。

### (5) 学生の支援

1. 学生寮を「学生寮の特性を活かしながら、進んで地域医療を担い、地域住民に信頼される医師として人間性を涵養する場」として機能させる。学生寮の新築も含めた具体的な検討のための作業部会を設置する。
2. 学生の人間的成熟を促す場としての大学会館(仮称)を検討する。





### ( 1 ) 地域医療への支援

- 1 . 地域医療支援における各講座、診療部門の位置づけ、役割を明確にするとともに役割に応じた協力体制の確立を図る。
- 2 . 学長付医師制度の充実強化を図る。
- 3 . 地域医療白書による地域医療についての提言を行う。

### ( 3 ) 都道府県との連携・協力

- 1 . へき地医療を支援する部門（地域医療支援センターなど）の活動を支援する。
- 2 . 卒前、卒後教育の多様化を検討するとともに中長期的な視点から育成・研修ができるよう各都道府県を支援する。
- 3 . 各都道府県のニーズに即した救急や小児科など政策医療の支援を行う。

### 長期目標

## 地域医療の確保及び向上に貢献

### ( 2 ) 卒業生の支援

卒業生等への診療支援を図る。

（診療支援ネットワークの確立）

- 1 . 遠隔医学教育用事例集システムを整備する。  
（平成17年度）
- 2 . ジャーナル等の文献検索のサービスを行う。  
（平成17年度）
- 3 . 地域・学外連携システムを構築する。  
（平成19年度）

卒後研修体制の充実化及び義務離脱対策の強化を図る。

- 1 . 地域医療従事医師に対して短期、長期のブラッシュアップ研修の場を設けるとともに、専門医の取得を希望する医師に対する支援を行う。
- 2 . 県人会組織を充実させる。（平成17年度）

業務運営に関する重要目標  
(施設・設備等の整備)



- 1．とちぎ子ども医療センターの整備を推進する。 (平成16～18年度)
- 2．附属病院外来診療ゾーンのリニューアルを推進する。(平成18～21年度)
- 3．附属大宮医療センターの増床計画を推進する。 (平成18～21年度)
- 4．大学教育研究ゾーンのリニューアル計画を策定し推進する。(大学医学部教育研究ゾーンの環境整備を図る。)
- 5．その他の教育関連施設等の改修計画を推進する。
  - (1) グラウンド・運動場の改修、臨床教室の音響・映像設備の更新等を行う。(平成17年度)
  - (2) 学生寮の新築も含めた具体的な検討のための作業部会を設置する。
  - (3) 学生の人的成熟を促す場所としての大学会館(仮称)を検討する。